

「ツイてる」

松下幸之助は、面接のときに必ずこの質問をしたそうです。

「あなたの人生は、今までツイていましたか？」
あなたはどうか？ツイてると思います？



東大、早稲田、慶応、京大、どんなに優秀な大学を卒業していても「いいえ、ツイていません」と答えた人は、採用しなかったそうです。逆に「すごくツイていました」と答えた人は全員採用。

優秀 < ツキ

と松下幸之助は考えていたようで、ツイてる人をなにより優先していたそうです。では「私はツイています」と自分で言える人の深層心理には何があるのでしょうか？「私はツイています」と言える人の深層心理には・・・

「自分の力だけじゃない」という周りに対する「感謝」の気持が必ずあるのだそうです。

つまり、松下幸之助は、感謝の気持がある人かどうかを

「あなたの人生は、今までツイていましたか？」
この質問で見ようとしていたのです。

根底に感謝の気持がある人は、今優秀に見えなくても、今結果が出ていなくても必ず良い人材に育つことが、松下幸之助には見えていたんでしょね。

事実「はい。ツイています」と即座に答えて採用された学生たちが、課長になるころに彼らの企画が続々とヒットし始め、松下黄金期へ突入していったそうです。

実は、戦国武将たちもこのように考える人は多かったようです。側近中の側近に置く人間を、槍の名人ではなく、九死に一生を得たような「ツイてる人」が選ばれることもあったそうです。だから例えば・・・

「屋根から落ちてでも死ななかつた人」はとても重宝されたわけですよ（笑）

実は、この話～数ヶ月前に教えてもらったんですが・・・
正月(1月号)にと、とっておいた話なんです(笑)



「新しい年」のはじめに皆様に読んでもらって～

『ツイてる～ツイてる』

という気分でスタートできたらと思ったからです！

これを読まれた方は～とりあえず、今近くに居られる人に

『私はツイてるんです』

と口に出して言うてみて下さい！！

正月早々、何か良い事があるかも・・・

